

広域のニュース

広域 社会 3.11大震災

ツイート シェア

被災女性の抱える心情、メッセージ付き写真で発信 東京のNPOが40回超える展示会

東日本大震災と東京電力福島第1原発事故で被災した女性たちの心情を、メッセージ付きの写真で発信する展示会が国内外で開かれている。開催は40回を超えており、主催団体は「被災女性が抱える問題を伝えつつ、自身のケアにもつながる」と意義を語る。

仙台市内でも2月中旬に展示会が開かれ、約100点の写真が並んだ。

東京に自主避難する宮城県出身の女性は、県から届いたアンケート用紙を撮影した。添えられたメッセージは「故郷からの便りはほとんどが私にとって意味がなく感じてしまう」。住み慣れた土地を離れた苦悩がにじんだ。

仮設住宅で独り暮らしする女性は、防犯のために男性用の靴を置いた玄関の写真を展示。放射能汚染を心配して子どもと関東地方に避難した母親は、メッセージで孤独感を吐露した。

展示会はNPO法人フォトボイス・プロジェクト（東京）が主催する。共同代表を務める米シカゴ大社会福祉学大学院の吉浜美恵子教授が、被災地支援の一環として活動を立案。2011年6月から避難所などで被災者に協力を呼び掛けた。

当初は懐疑的だった女性も写真を撮り、話し合いを重ねるうちに涙を流して体験を明かすようになったという。

当初5人だった参加女性は、首都圏への避難者を含めて約50人に増えた。吉浜教授は「個人の問題を発信して広く共感を得ることで、精神的に満たされる効果も大きい」と話す。

展示会はフランス、米国などでも開き、今年2月には作品集「被災した女性たちが提示する防災・復興の課題-東日本大震災のフォトボイス」を発行した。1部2500円。連絡先はフォトボイス・プロジェクトのメールアドレス photovoicjapan@gmail.com

関連ページ: [広域 社会 3.11大震災](#)

2018年04月30日月曜日

ツイート シェア



仙台市で開かれた写真とメッセージの展示会。被災地の女性の課題解決にも役立っているという

拡大写真

河北新報社からのお知らせ

05/14 釣り情報サイト「釣り河北」へのリンクバナーを削除しました。運営会社がサービスを終了させたためです。

05/01 河北新報印刷センターのご見学受付について

見学施設改修による受付休止期間が変更になりました。休止期間は11月1日～2019年1月15日です。当初、休止期間としていた8、9月はご見学いただけます（8月10～20日を除く）。ご希望の方は受付係TEL022-211-1473まで、ご連絡ください。



新着情報

新着情報一覧

うたの泉（641）さみだれはあしたさみどりひるはしろ ゆふべうするり夜のふけて金/松平颯子

独眼竜政宗/マンガ/第160話 ふたつの月の間に

独眼竜政宗/楽屋/第160話について

うたの泉（640）社唱和 白いセミナー室にいて わたしは生まれなおされている

うたの泉（639）おつとりと眠るがごとき生欲しと 象にし間へど苦しむ象も

河北就職ナビ2019
就活スタート！2019年3月卒業予定の学生の皆さんへ 宮城・東北の優良企業からのメッセージ

今できることプロジェクト
企業・市民・新聞社が一緒に取り組む東日本大震災復興支援企画です。

宮城の赤ちゃんへ贈ります
「すくすくぼこ」好評受け付け中！

とうほく創生 Genkiプロジェクト

仙台圏の生活情報満載！河北ウィークリーせんだい

Job探：仙台・宮城の求人情報

みやぎのいいものご案内！47CLUB

ベガルタ仙台情報、決定版！「ベガモ」

杜の囲碁サロン

デジタルチラシサービス「河北新報×shufoo」

LINEスタンプ「かほピョンとなかまたち」

東北ビジネス通信

宮城県からのお知らせ

みやぎ復興情報ポータルサイト

スマイルとうほくプロジェクト